

及川みのる展



Minoru Oikawa
Marchen comen

2014.4/27 sun. ~ 6/15 sun.

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時半まで）

入館料：一般300円、大学生150円（常設展観覧料含む／団体は20名以上2割引）

高校生以下、65 才以上の方、障害者手帳等の所持者は無料

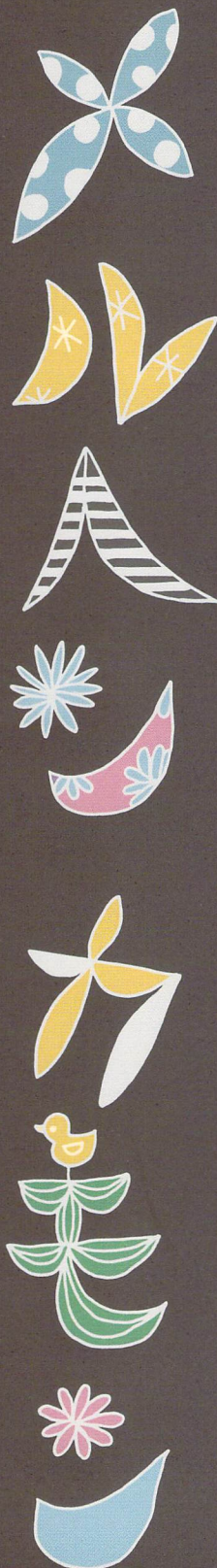
休館日：月曜日（5/5 は開館し、5/7 は休館）

主催：高松市塩江美術館

協力：一般財団法人 さぬき生活文化振興財団

Shionoe Museum of Art

高松市塩江美術館



宮城県気仙沼市出身の及川みのは、故郷が壊滅的な被害を受けた東日本大震災のあと、世界がモノクロームに見え、生きることと作ることへの自問自答を繰り返したといいます。そして、永遠に変わらないと信じていた自然との向き合い方を見つめ直し、絶望を希望に変えるため“メルヘン”の表現を試みました。この“メルヘン”は、夢や空想ではなく、現実によってくる「希望」そのものであり『メルヘンカモン』という言葉は、強く強く、前へ前へと進もうとする、未来へのスローガンとして掲げられています。

本展では、故郷の海を想って物語を紡いだ乙女たちの陶彫、ワカメや魚をモチーフにした木版画、ユーモアと祈りを込めたインスタレーションを展示します。また、これまで培ってきたアートに対する憧憬や心情を写真と映像作品で振り返り、独自のスタイルで切り拓いた“メルヘン”をご紹介します。

メルヘンライブ

Diamondlilyと及川みのはによるコラボレーションライブ。インスタレーションの作品を舞台に「艶子はゆれる」（作詞：及川みのは）をスペイン語で披露する。また、パフォーマンス後は、作家によるギャラリートークを開催。

日時：6月1日（日）19：00～20：00（18：30開場）

入場料：500円 場所：企画展示室

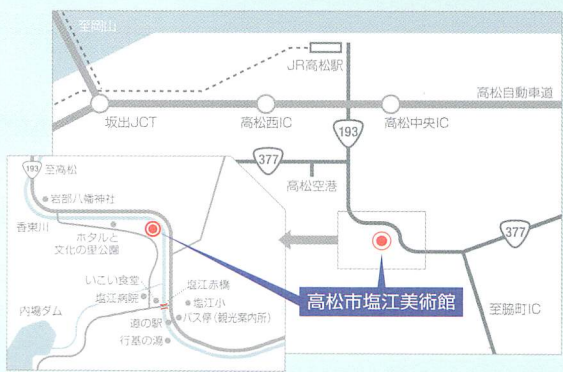
Diamondlily（ダイヤモンドリリー）/地元香川県を中心に活動しているSupLiとkenによる音楽ユニット。SupLiが生み出す歌声に色を加え、自然の波長を創造する。

表紙 写真：《三陸うに子》陶 2013 背景：『善根湯×版築プロジェクト』（香川県本島）題字デザイン：SupLi

及川みのは Oikawa Minoru

1972年宮城県気仙沼市津谷出身。東京藝術大学（陶芸）卒業。福祉施設や老人ホームで「土あそび」として表現活動の助けをしながら制作。2002年より東京、茨城、大阪、ニューヨークのギャラリーで個展。また、ヨーロッパ各国でグループ展に参加し、世界を舞台にキャリアを広げてきた。東日本大震災後、茨城～宮城間での出張陶芸教室を行う。2012年香川県に移住。2014年9月よりOficina de arte（メキシコ）で滞在制作を予定している。

左から《海とワカメと魚とヒトと》木版画2011 《ラグ・美術》写真2014 《トキマン》映像2001



アクセス

- バス ▶ JR高松駅から「ことでんバス・塩江線」乗車約60分、塩江バスターミナル下車徒歩約15分
- 自動車 ▶ 高松中央ICまたは高松西ICから約40分
- 飛行機 ▶ 高松空港からタクシーで約20分

高松市塩江美術館 Shionoe Museum of Art

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上 602
tel.087-893-1800 fax.087-893-1833